

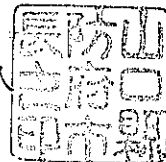
内



防 道 第 480 号
平成 19 年(2007 年)5 月 7 日

国土交通省道路局長 様

防府市長 松 浦 正 人



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成 19 年 4 月 2 日付、国道企第 114 号にてご依頼のありました標記の件について、下記のとおり回答します。

記

重点化を進める上で特に優先度の高い施策

防府市では、第 3 次防府市総合計画における平成 18 年度～平成 22 年度の後期基本計画で、利便性の高い都市生活の充実を図るため、道路・街路等の交通基盤の整備や、安全で安心な市民生活の確保のため、河川改修と維持管理、治水・排水対策、消防・防災対策、交通安全対策等の実施について、重要な課題として位置づけています。

なかでも、主要幹線道路網の整備は、

自立的な地域社会の形成

他都市との交流や連携の強化

住民の利便性の向上

地域の特性を活かした産業の振興

等につながり、足腰の強いまちづくりには欠くことのできないものです。特に一般国道 2 号の渋滞解消につきましては、最重要課題として位置づけており、防府市の東西の玄関口である、富海地区・大道地区の交通渋滞解消について強く要望します。

効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

ライフサイクルコストの低減に取り組んで頂く中で、住民参加の道路管理として、地域住民での清掃美化活動を行うボランティア・サポートプログラムを展開し、道路への愛着心を深める展開をするとともに、道路利用者のマナーの向上を啓発するなど、地域と密接な道づくりを推進すること。

その他、道路施策や道路の整備・管理全般に関する意見

道路特定財源は、目的税であることから、道路整備に対するニーズを踏まえ、計画的に進めていただきたい。特に整備の遅れている地方の実情も踏まえて、地方の活性化や自立に役立つよう配慮していただきたい。